

要人往来

渡航自由化50周年と同じ年に日本との国交樹立50年を迎えるジャマイカからシンプソン=ミラー首相が初来日。観光交流の拡大に向けてJATAが果たす役割への期待を表明されました



英国湖水地方ジャパン・フォーラムコリン・フォックス会長(中央)



フェネラ・ビショップ・トラベル
コーポレーション・アジア社長



キャンベル・ウィルソン・
スクート CEO



ジョン・マメラ・カナダ観光局
国際担当副社長



ポーシア・シンプソン=ミラー・ジャマイカ首相(左から4人目)

日本市場で新たな魅力をプロモーション 英国湖水地方 10月23日(水)

コリン・フォックス英国湖水地方ジャパンフォーラム会長

中村理事長を訪問し、懇談。同会長は「現在、湖水地方はイギリス人観光客の次に日本人観光客が多く、大変嬉しく思います。湖水地方は、英国内でロンドンに次いで人気の高いデスティネーションです。ピーターラビットやワーズワースが有名で、また特有の景観なども日本人に好まれています。今後は日本の旅行会社と協力して、湖水地方の新たな魅力をプロモーションしていきたい」と語りました。中村理事長は「湖水地方は大変魅力的で、日本人にも非常に好まれる景観です。これからは若い世代の日本人観光客も視野に入れ、旅行会社と協力し合い、さらに魅力的なツアー作りをしていくことに意味があると考えます。湖畔の素晴らしいウォーキング・ルートなど、英国らしい湖水地方でしか味わえないツアーをセールスポイントにプロモーションすれば良いでしょう。日本の海外渡航自由化50周年に伴い、ヨーロッパもアピールして観光客の増加に向けて協力していきます」と応えました。

旅程保証や取消料の見直しを期待 スイス 10月25日(金)

フェネラ・ビショップ・トラベルコーポレーション・アジア社長

トラベルコーポレーション・アジアのフェネラ・ビショップ社長が中村理事長らを訪問し、10月の「ETOA Tourism Summit in the Alps 2013」で議題に上がった日本からの欧州旅行における旅程保証や取消料などについて、今後の制度の見直しへの期待を表明しました。中村理事長らは「日本の旅行業法に関わる問題点について、お互いに議論を重ねていきましょう」と応じました。

旅行会社と新しいマーケットを創造 シンガポール 10月28日(月)

キャンベル・ウィルソン・スクートCEO

日本韓国支社の坪川成樹支社長と共にJATAを訪れ、中村理事長と懇談したキャンベル・ウィルソンCEOは、「従来の欧米型とは異なり、アジアにおける国際線の中長距離路線を中心としたLCCモデルに挑戦しているが、特に日本においては旅行会社の果たしている役割が大きく、是非新しいマーケットを共につくっていききたい」と話しました。中村理事長は「日本の旅行会社の役割を認めていただいたことに深く感謝している。LCCセミナーへのご登壇もありがたく、会員各社との関係をより深めていただきたい」と話しました。

外交関係樹立50周年の来年に様々なイベント ジャマイカ 11月7日(木)

ポーシア・シンプソン=ミラー・ジャマイカ首相

今回が初来日となったミラー首相と中村理事長が帝国ホテルで、今後の日本とジャマイカにおける観光の発展について懇談。同首相は「文化・音楽・スポーツ・美しい自然など、ジャマイカは日本人観光客の皆さんに楽しんでいただける観光資源も豊富です。来年2014年は、日本とジャマイカとの外交関係樹立50周年という特別な年で、観光庁とジャマイカ観光局が様々なイベントを企画しています。今後、航空路線の利便性が高まることで、日本の皆さんがジャマイカへ訪れる機会が増えることを願っています」と期待を表明。中村理事長は「ジャマイカはレゲエ音楽やウサイン・ボルト選手を代表とするスポーツ活動でも大変よく知られ、人気があります。観光客増加に向けて航空路線の確保は非常に大切で、今後のさらなる発展を期待しています。2014年は日本の海外渡航自由化50周年でもあり、旅行会社によるレゲエマラソン等の楽しいイベントを組み込んだツアー企画など、ジャマイカへの観光客増加に向けて、JATAとしてもバックアップしていきたい」と応えました。

修学旅行のプロモーションを推進 カナダ 10月22日(火)

ジョン・マメラ・カナダ観光局国際担当副社長

同副社長とJATA中村理事長らが懇談。同副社長は「カナダを訪れる観光客の中で、日本人は若い世代の訪問も少なくありません。“Signature Experience”と題して、カナダでしか体験できないツアー素材を用意し、今後は修学旅行のデスティネーションにもプロモーションに力を入れていく予定です。また、羽田/カナダ便の就航や輸送力拡大について話し合いを始めたところで、観光客の増加が期待されます」と語りました。中村理事長は「羽田からの路線や輸送力が拡大されれば、観光客数は間違いなく増えるでしょう。観光資源が豊富で魅力的なカナダでしか味わえないツアーを上手くプロモーションできれば、カナダへの旅行者数も拡大すると思います」と応えました。



⑩ベルギーのお菓子といえば、一番にチョコレートがあげられる。次のブランドのなかで、ベルギーのものでないのはどれ? a マルコリーニ Marcolini b リンツ Lindt c ガレ Galler d ノイハウス Neuhaus